



ウエールズ、スコットランド、スエーデン、デンマーク、フィンランド、ドイツ、オランダ、ノルウェー、南アフリカ連邦、豪州、ニュージーランド、カナダ、ガーナ、日本の計17か国。大会名誉総裁が朝香誠彦氏（旧朝香宮）、大会名誉会長が鳩山由紀夫氏（元内閣総理大臣）。後援は、外務省、厚生労働省、文部科学省、三重県、津市、（公財）日本障害者スポーツ協会、（財）全日本聾哑連盟、R&A、（公財）日本ゴルフ協会など。

ブリヂストンスポーツ（株）、アンダーパーマー、COCOPA、RESORTが協賛。大会の第1R 10月9日（火）、第2R 10日（水）、第3R 11日（木）、ファイナルR 12日（金）。大会事務局 ☎03-3280-5405、jdg@gsi-inc.co

**日本ゴルフ場事業協会**

**チーム対抗関西地区予選 伏尾とオリムピックで開催**

元内閣総理大臣の安倍晋三氏が昨年理事長に就任して加盟クラブが増えている日本ゴルフ場事業協会（NGK）は、恒例イベントであるシニアとレディース限定の経済産業大臣杯（仮称）「全国チーム対抗戦」の2012年関西地区予選の詳細が決定した。日程および会場コースは、8月31日（金）伏尾ゴルフ倶楽部（池田市、27日）、9月11日（火）オリムピックゴルフ倶楽部（三木市、18日）。プレー料金（参加費1000円含）は、伏尾GCがキャディー付き1万2830円、オリムピックGCがセルフプレーの昼食付き1万530円。チーム構成は、4人1組（上位3名のネットスコアを集計）。競技方法は、新ペリア方式（Wパーまで、算出ハンデイキャップ上限なし）、ネットの場合は4人目のネットスコアの少ないチームが上位、さらに同位は4名の合計年齢が多いチーム、ただし、チームが3名場合は4名の場合は4名のチ

ムが上位。参加資格は男子シニア部門（昭和27年12月31日以前生れ）、レディース部門は年齢制限なし。参加申込は、所定の参加申込書に必要事項を記入し、NGK加盟コースの会員（紹介可）は所属コースへ、以外の人はNGK事務局（☎06-6365-1133）まで要問合せ。

**PGM**

**オリジナルコピー販売**

PGMは、オリジナルテイクアウトコピーを木津川CC、神有CC、フォレスト三木GCなどで販売を開始した。

**社名変更**

サンロイヤルゴルフクラブ（加東市、18日）を運営するサンケイ観光（株）と関連会社の（株）ドレスエントプライズが4月1日付を以って合併し「三恵観光株式会社」に社名変更した。

〈役員構成〉  
代表取締役 杉本 潤明  
常務取締役 福林 哲  
取締役 西山 紀

**テクノアドバンスが考える省エネ：第14弾**  
**太陽光発電はいま**

再生エネルギー法施行による電力全量買取制度導入まであと1か月半。そのせいか、最近とくに太陽光発電に関する問合せが多くなりました。大飯原発の再稼働問題は、賛否両論色々ありますが、この問題の動向いかんで、ますます再生エネルギーが、もう少し現実的に注目されるのは間違いないと思います。その中でも、太陽光発電については、一番身近な再生エネルギーとして認知されることが、その要因なのかもしれません。そこで、いま現在太陽光発電はどういう方向を向いているのか気になるところです。太陽光発電普及拡大センターの発表では、2012年度現在の3%強、程度なのが国内普及率の現実のようです。「全国約5000万戸のうちの1000万戸に普及させる」と、時の総理大臣が示した数字からは程遠い普及率になっています。5000万戸のうち、比較的導入し易いと

思われる戸建住宅に限って考えも、まだまだといった感じですが。価格自体は急速に下がり、以前ほどの高値感も払拭されつつあるものの、個人で出費するには割高感も拭えません。また、各地方自治体間での補助金格差もあり、今年度に入ってから、国の補助金も若干ではあります。金額が引下げられました。一方では、外国の大手太陽電池メーカーが経営破綻するなど、決して明るい材料ばかりではないのが、今の太陽光発電の現状といったところでしょうか。

ただ、太陽光発電は、今やパネル式の屋根の上に載せるばかりでなく、ガラス窓に埋め込んだもの、直近では太陽光電池付きのカーテンまで出現（参考品の段階ですが）してきました。発電量や効率は劣るものの、ありとあらゆるところに太陽光発電の可能性を秘めています。後は、価格ですね。

テクノアドバンス株式会社  
環境開発事業部 森脇玉秋  
☎06-6390-5030